



「誠実・実行・こころざし！」

東伊豆町議会議員

<文教厚生常任委員会>

須佐まもる

「須佐まもる後援会」で検索しよう！



イソブキ便り！ No. 21 平成 31年 4月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18
Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで！ http://www.knossos.jp/giin_mamoru/

facebook いいね！
お願いします
Facebookページから情報をゲット！



当選後の6月議会で登壇

昨年3月に補欠選挙で当選させていただき、2期目を務めることができました。約1年ですが、私にとって充実した濃縮した1年でした。

この1年で町は大きく変わりました。稲取漁港直売所はまもなくオープンしますが、私が訴えていた“楽市楽座”方式で誰でも出品できます。アスド会館にはイズーが飼育員を養成する学校を立ち上げますし、協働のまちづくりを提唱し続けた結果、次年度から公募型補助金制度が創設されます。これを機にどうぞ皆さん、まちづくりに参画してください！

平成三十一年度予算が成立、議会閉会

「平成最後の議会」と言ったらオーバーかもしれないませんが、三月定例会が二十日間の会期で開かれ、25日に閉幕しました。

一般会計総額51億3千万、特別会計水道会計合わせて39億の総計90億3千万円で新年度町は動きははじめます。

今定例会で、私は四問の一般質問をさせていただきました。一つ目はふるさと納税について、今年度の反省点と次年度に向けた取り組みをたどりました。報道でも功罪がさやかれるふるさと納税ですが、財源の乏しい地方では

“第二の地方交付税”ともいえる貴重な財源です。返例品の充実も含めて力を入れていく必要があります。

二問目は企業版ふるさと納税についてです。こちらは企業が町に寄付をするというもので、まちづくりの良いプラ

ンがあれば企業は寄付してくれます。現在、クロカンコースに東急さんと伊豆急さんがオリブを植えるプロジェクトを進めています。こういった事業を大きくして、ジオサイトなど周辺整備を進めていく必要があります。

三問目は県が進める賀茂キャンパス構想についてです。全国的に大学の再編が進んでいます。県内の大学が賀茂郡内に学部を設置し、学生を集めるといった構想の現実味を問いました。

四問目は町の雇用形態についてです。報道でもありましたように、全国の自治体で非正規雇用の公務員の問題が指摘されています。いわゆる

「ブラック企業」はよく聞きますが、“ブラック自治体”が意外と多く存在します。

東伊豆町は非正規雇用の割合が18%と正常な範囲内ですが、今後も働き方改革を議会から提言していきます。

その他、予算については二問の大綱質疑を実施しました。

風力発電施設の事務調査特別委員長に就任

故障中の風力発電について稼働しているのではないかと疑問が生じ、議会であつたところ、当局の説明が二転三転しました。そこで特別委員会を立ち上げ、修繕工事に関して事務調査を実施しました。その結果、予算の二重取りが発覚しました。

悪意はないものの議会軽視です。議会最終日に委員会の報告を行い「行政事務の適正化を求める決議案」を提出、全会一致で可決しました。

その後、より厳しく追及する「百条委員会」の設置が決まりましたが、私はそこまでの必要はないと判断しました。



9月議会で決算委員長に就任しました。引き続き町政の監視と提言、議会改革に努めて参ります。

★後援会員募集中です！

須佐まもる後援会では皆さまからのご意見をお待ちしております。お気軽にお申し付けください。 Tel&Fax 23-3501



「須佐は何をやっているのか！実績はあるのか！」

はい、こちらが一般質問での須佐の実績です。
これまで19回の定例会で68問の一般質問をしました。



	訴えたこと（一部）	町長の答弁、検討	実績！
平成 23 年 の一般質問	大規模災害に備え、国道・県道に続く第三の道建設は（H24. 30 年にも同様の質問）	いろいろなルートを探索している（H23） 湯ヶ岡=赤川線を延長して、トンネルで伊東の中大見線に結ぶ構想（H24）	町が国県への陳情を実施、予算規模の拡大 トンネル構想が現実味（H30）
平成 24 年 の一般質問	モニターツアーを実施するなどして移住定住を推進したらどうか（26 年にも質問） 大川・北川の義務教育児童の通学費が本人負担になっている（H25. 26 年にも質問）	協議会を立ち上げる予定でいる 理解できるが他の地域の現状も調べる	平成 28 年、古民家を改修してお試し居住施設を設置、実際に移住した人も 平成 30 年度の熱川小、大川小の統合に合わせスクールバスを導入、公共交通で通う生徒の半額を補助
平成 25 年 の一般質問	10 年以上途絶えている「大島航路」を復活させ、景気の活性化や防災の強化を 農道太田線の拡幅延長に合わせ、通学路整備を 稲取キンメなどブランド商標をすすめ、地域の特産品をアピールすることが重要 町職員採用の受験資格で住所特例撤廃を 「地域おこし協力隊」制度の導入検討を 路線バスに接続するコミュニティバスの導入で買物難民をなくす（H26. 30 年にも質問）	防災面で重要、ジェットfoil船が停泊できるよう担当部署と話し合う 農道は県の事業だが町の単独事業でやりたい 稲取キンメは申請中と聞く 入ってくる人よりこの町の人を優先させたい 定着しない例もある 考えていない（H25） 前向きに検討したい（H26）	平成 28 年 1 月に大島つばき祭り期間中の運航が実現 平成 30 年、拡幅完了と同時にグリーンベルト（歩道）を整備 議会で取り上げられたことで「稲取キンメ」の商標が加速化 平成 29 年度の採用から住所規定を撤廃 平成 28 年度より導入、現在、一期生 2 人が 3 年満期を迎え、地域おこしやオリーブ栽培などで実績を残す ニーズの把握に努め、先進事例の検証をしていく（H30）
平成 26 年 の一般質問	公募型補助金制度の導入でまちづくりの強化を（H30 年にも質問） 本格的なふるさと納税制度の導入は（H30 年に現状を質問） 収入減のなか、入湯税を子どもからも徴収したらどうか（H30 年にも質問） ※一般的に入湯税は中学生以上から徴収するが自治体裁量	財政上困難（H26） 次年度から実施予定で検討（H30） 制度が疑問、返礼品は礼状や広報の「ひがしいず」の送付（H26） 考えていない、観光客が減る（H26） どういう形か未定だが検討している（H30）	平成 31 年度より実施予定、予算規模 150 万で一件の上限枠 50 万。町外の人でも利用可能 平成 28 年度より本格導入で 2.6 億円、29 年度は 1.8 億円、30 年度は 1.3 億の実績 検討が進められ、近いうちに実施予定 （ちなみに伊東市では小学生からも徴収している）

一方で、まだ実現していない課題もあります。オリンピックに向けた活性化、ボランティアガイドの育成、ジオパークの PR、まちづくり条例の制定、大川グランドホテルの撤去、企業版ふるさと納税への取り組み、そして、私たち東伊豆町民の財産である築城石を国の文化財へ！これらの課題に取り組んでまいります！